

事前評価（事業費 10 億円未満）調書

事業名	一般府道 交野久御山線 歩道整備	
担当部署	都市整備部 交通道路室 道路環境課 交通安全施設グループ（連絡先 06-6944-9283）	
事業箇所	枚方市長尾元町五丁目	
目的	本箇所は J R 長尾駅前にアクセスする道路であり、近年住宅地等の開発が進み利用者が増加している路線である。駅前であることから通勤・通学を始め歩行者、自転車の利用が多いにも関わらず現在は歩道未整備であり、通行車両と歩行者等が交錯し危険な状況であるため、長尾駅前広場整備事業に合わせて歩道整備を行うことにより歩行者等の安全と交通の利便性の向上を図ることを目的とする事業である。	
内容	○歩道整備 事業延長 L = 1 2 0 m (現況) 歩道なし (計画) 両側歩道 W = 2 . 5 m × 2	
事業費	全体事業費：約 5 . 0 億円 (内訳) 用地費 約 4 . 0 億円 工事費等 約 1 . 0 億円	
	【事業費の積算根拠】 近年の事業実績による	【工事費の内訳】 ・歩道設置等 1 . 0 億円
事業費の変動要因	【他事業者との協議状況】 ・長尾駅前広場整備事業と事前協議中 【今後の事業費変動要因の予測】 特になし	
維持管理費	3 . 0 百万円／年・k m (国土交通省 費用便益マニュアル)	
関連事業	・枚方市長尾駅前広場整備事業	
上位計画等における位置付け	○「大阪府都市基盤整備中期計画（案）改定版(H17.3)」 ○「大阪府歩道整備計画（案）H14.12」	
事業を巡る社会経済情勢等	○当該道路状況 当該事業箇所は、J R 長尾駅前の道路であり、特に朝夕は通勤・通学を始め歩行者、自転車の多い箇所であるが、歩道が未整備であり歩行者等にとって大変危険な状況である。 ○交通センサスデータ（平成 1 7 年） 自動車交通量 : 1 8 , 1 7 5 台／1 2 h 自転車交通量 : 7 0 3 台／日 歩行者交通量 : 1 , 5 4 7 人／日 ○交通事故発生状況 H 1 6 ~ H 2 0 (5 ヶ年間) : 2 5 件 (うち死亡事故 : 0 件)	

地元の協力体制等	地元市等から、駅前広場整備事業と併せた整備要望がなされている。
事業の投資効果 <費用便益分析> または <代替指標>	交通安全事業における費用便益分析手法は確立できていない。
定性的分析	<安全・安心> ○歩車分離を図ることにより、歩行者・自転車等の安全を確保する。 ○周辺に公共施設、医療機関、小学校があり、利用者の安全確保に寄与する。 <活力> ○誰もが安心して社会参加できる生活空間の形成（バリアフリー化の推進・歩行者交通等の利便性向上） <快適性> ○交通利便性の向上
事業段階ごとの進捗予定と効果	平成 2 3 年度：協議・設計 平成 2 3 ~ 2 5 年度：用地買収 平成 2 5 ~ 2 6 年度：用地買収、工事
完成予定年度	平成 2 6 年度
代替手法との比較検討	○本区間で歩行者等の安全を確保するためには、通行車両と歩行者等を物理的に分離できる歩道整備を両側に行うことが最善策であり代替案はない。
自然環境等への影響とその対策	○周辺は市街地が形成されており、本事業において新たに自然環境に影響をあたえることはない。
その他特記事項	特になし

対応方針	・事業実施は妥当 <判断の理由> 本箇所は、J R 長尾駅前の道路であり、近年住宅地等の開発が進み、駅前であることから特に通勤・通学を始め歩行者、自転車の利用が増加しているにも関わらず歩道が未整備であり、通行車両と歩行者等が交錯し大変危険な状況であるため、歩道整備を行うことにより、誰もが安全・安心・快適に通行できる歩行空間が確保されることから優先的に整備すべき箇所と判断した。
------	---

一般府道 交野久御山線(歩道整備)事業概要図

